



最強の妖怪討伐士

前編

まさかの弱妖怪に敗北!?

人形にされて売られるなんて!

『妖怪討伐士』

幕府からの密命を受け
世に仇をなす妖怪を退治する
公儀の役職……

妖刀

咲夜にしか使えない
妖怪を退治できる刀

咲夜

常に武士たらしめとし、
女性扱いされることを嫌う。

大河童

悪事を働く
沼の妖怪

最高級の旗本一族が担い
先代の父が急逝後、
娘・咲夜は女の身でありながら、
若くして当主となっていた。

妖怪騒ぎが
後を絶たない中…

幕府の調べて、

その元凶が

駿河国に**大妖怪**が

出現したことだと判明。

幕府の密命を受け

大妖怪を

討伐するため

旅立った…のだが

おにがらす
鬼鳥

幕府からのお目付役。
昼夜の任務遂行を
助けるため派遣された忍び。

駿河へ向かうのに
なぜ甲州街道へ
行かれるのですか？

八王子の山奥から
微かに妖気を感じる

雑魚だらうけど
妖怪が1匹
残っているようだ

駿河へ行く前に
江戸の近くを
きれいにしておかねばな

妖気が
漂っていたのは
山奥にある古寺だった

旅の道中、
道に迷ってしまいました…

これは、これは、
お待たせいたしました。
何ぶん見てのとりの
荒れ寺でございましてな

傀儡師

古寺にいた男
微かに妖気を漂わす

ろくな夜具も
ございせんが…
これにてご勘弁を

蒲団

傀儡師から
渡された

いや、これは有り難い。
夜露さえ
しのげればと
思っていましたものを
蒲団まで——

ところで
お前様はここに
お住まいなのかな？

いやいや、
私めはここで
一夜の宿をお借り
しているだけのこと

傀儡師という
人形練りを見せる
香具師でしてー

売り物の人形 傀儡師の商い物

売り物の人形 傀儡師の商い物

売り物の人形 傀儡師の商い物

あのような人形を
作って売りながら
諸国を旅しているのです



鬼鳥が話を合わせている横で、
咲夜は神経を研ぎすませていた…
すでに敵の懐に飛び込んでいるのだ。
いつ襲われても不思議ではない。



…しかし、
お連れの方の方は
美しい…

もしや
高貴な家の方
でございますか？

いえいえ、
アレは庶民の町娘…
私もしがない浪人で
ございますよ

ほう、町娘ですか
ちようど今
作っていた人形も
町娘でしてね…

ここは
美しいお嬢さんの
ために、ひとつ…



すんっ

すんっ

すんっ

ホク

わたくしは
町娘・ちよう

わたくしは
町娘・ゆき

わたくしは
町娘・つき

今から
流行り歌に合わせて、
踊りをお届けします

両手の指を傀儡師が動かすと
人形は一斉に
同じ仕草で踊り始めた
人形の華やかさとは裏腹に
何か陰惨な感じの漂う
踊りであった…



この人形は、
私が丹精込めて
作り上げたもの…

美しき人形ほど
高く売れますゆえ、
これもまた
商いの要にございます

だんざん

お嬢様も
人形になられたならば、
ますます
美しいマコでしょう…

何はともあれ。
夜も遅いゆえ、
今宵はごゆるりと
お過ごしあれ…

。。。。。。

傀儡師が
部屋を去った後…

この汚い蒲団で
寝るのだけは
勘弁してほしい、
絶対に嫌だ！

我儘は
いけませんぞ。
ずっと
起きていては
怪しまれて
しまいます。

敵の手に乗って
見せるのも
兵法でございませう。

……はあ

相方は
敵を誘いやすくするためと
隣室で眠ることにした。

咲夜は並の人間の何倍もの
鍛錬を積んできたが、
上流階級で育ったせい、
この手のものには弱かった…。

夜も更けたころ、
傀儡師の男が
そつと部屋をやってきた…

平平平

…ようやく来たか
さあ、
何を企んでいる？

おううん

なっ!?!
か、身体が!!

しまった!!
蒲団の方に術が!?

あ、あががッ!!

これは、短刀？

浪人の男が
護身用にも
持たせたの
ですかね？

ああ…

あ…あが…

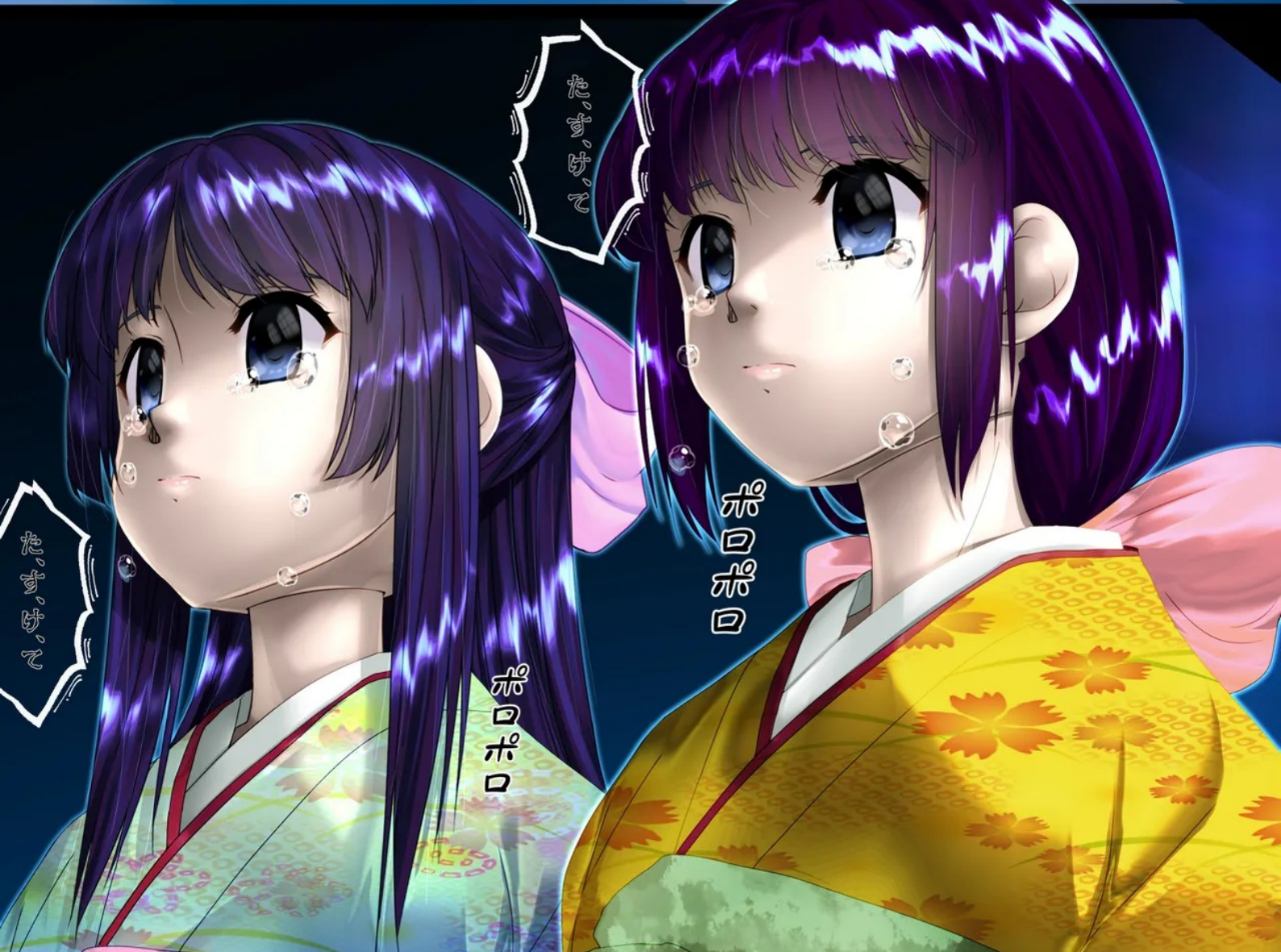
まあ、こんな
非力そうな町娘との旅路
用心しますよね…



あが……

……ああ……あ？

貴女はこれから
この子たちと
一緒に旅に出るのです。
生き人形となつてね!!



た、す、け、て

た、す、け、て

ポロポロ

ポロポロ

ピカッ

パサッ

さあ、傀儡師が
丹精込めて作った
町娘人形が
ようやく出来上がった。

まさに匠の技、
売ってしまうのが
惜しいくらい…
なんぞ申してみたり。



今しがた
妙な光が見えたが…
何の騒ぎ
ですか？

すう



ゴロツ

おや？
これが気に
なりますか？

私の手で
作り上げた、
ただの人形で
ございます



連れの町娘が
いないようだが…
何か知っているか？

それに
お主が手にしている
それ、何だ？

戦闘の音が寺に響く

ドカッ

いきなり
襲いかかってくるから
どれほどと思うたが…
拍子抜けだな

鬼鳥の声から
傀儡師に一撃を
与えたと推察できた


だが
生き人形となった咲夜は
ただ天井を眺めること
しかできなかつた…





これは妖怪の
作った人形か…

動きもせぬし
何の気配も感じぬ、
**この人形は
ただの木偶か**



まあ、妖怪風情に
真に迫る人形など
作れるはずもなきことよ

この粗雑な作り…
高値で売れることもあるまい、
二束三文の売り物だな

妖怪ごときが作った
売り物の人形に
時間を割いておれん!!

ザ
タ
ッ

キヤッ!

売り物…だなど…
わ、たし…を…
何と…思うて…
こ、んな風、辱…

戯れ事は終いだ
咲夜様を探さねば

時が過ぎ、
静寂が戻ると、
倒されたはずの
傀儡師がゆっくりと近づく

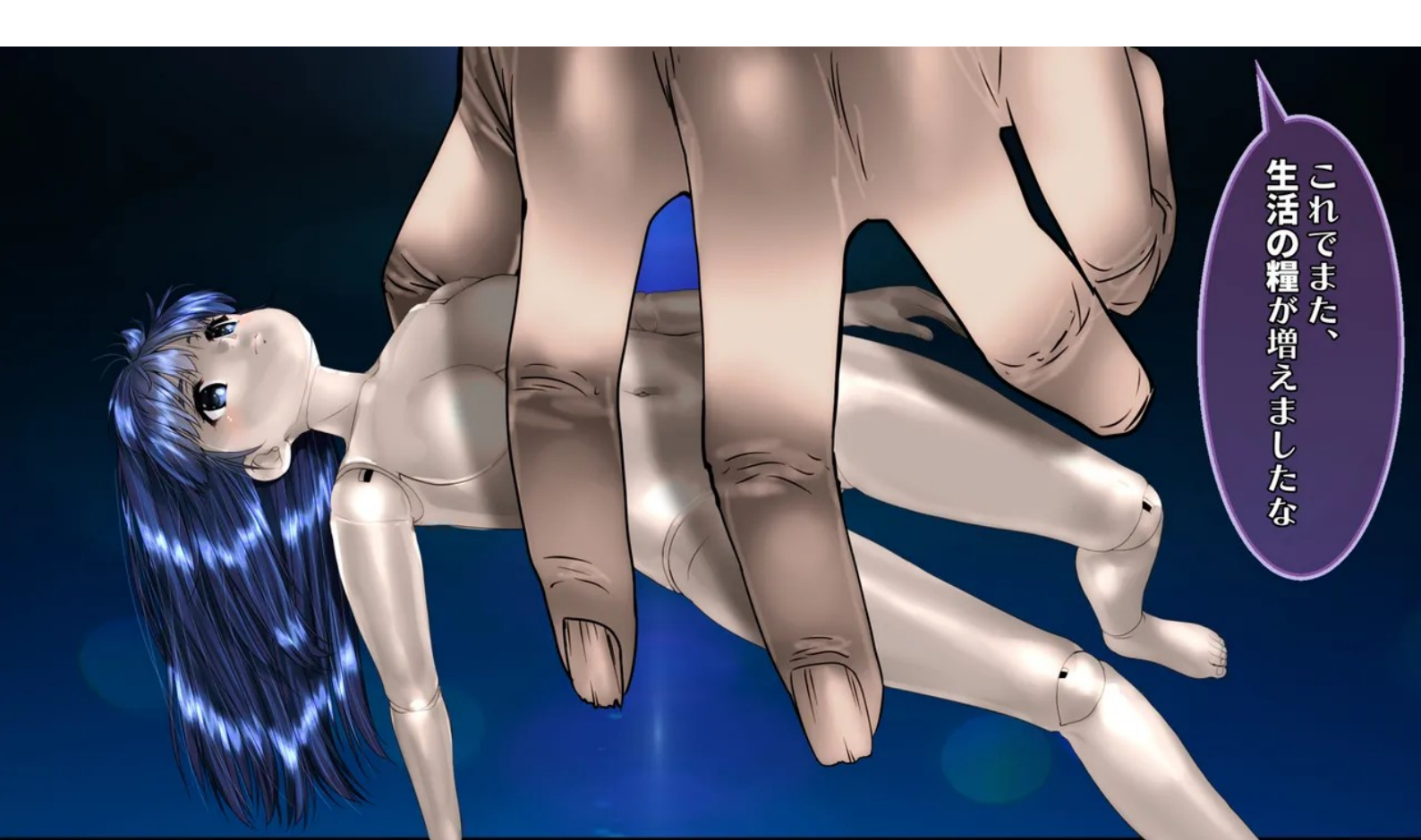
やれやれ…
作ったばかりの売り物を
雑に扱われて困りました…

や、め、り…


売、り、物…
で、な、い…

こんな所に
転がってはなりません、
丁重に扱いませんと





これでまた、
生活の糧が増えましたな



私のような小物妖怪は、
非力な町娘を狙うのが
最適でございますな

弱いから
簡単に狩れるうえ、
女好きの豪族に高く売れる

わたくしは
町娘人形…

ギ
ギ

傀儡師様の手で
丁重に作り上げられた
品でございます

カ
クッ

カ
クッ

カ
クッ

美しい見た目で
殿方を喜ばせます

殿方に
高くお買い上げ
いただけるよう、
上品な舞を
ご覧に入れます

…驚きました
町娘のくせに
可動が優秀ですね
いい踊りが
披露できそう

や
や
や



傀儡師が就寝し、
部屋には静寂が広がる

た、ん、ず、け、て
じ、や、す、け、て

た、す、け、て

た、す、け、て



動けぬ人形たちは、
ただ物言わぬ飾りとして
そこに留まるばかりであった

夜の帳が明け、
朝の陽光が静かに部屋を満たす。

裸でさぞ
寒かったことで
ごめんなさいような

しかし、人形たちは
昨夜の姿そのままに、
何ひとつ動くことなく、
ただ立ち尽くすのみであった。

すぐに木箱に入れて、
大事に保管して
差し上げますゆえ

To Be Continued...





































